

# 気づいて！涙液トラブル啓発委員会

## 調査結果

昨今のコロナ禍によってリモートワークを導入、デスクワークが増える状況にある中で、  
“新型コロナウイルス発生前”と“新型コロナウイルスによる緊急事態宣言発令中”での  
リモートワーク状況の実態および、リモートワークがもたらす目への影響等について  
調査を行いました。

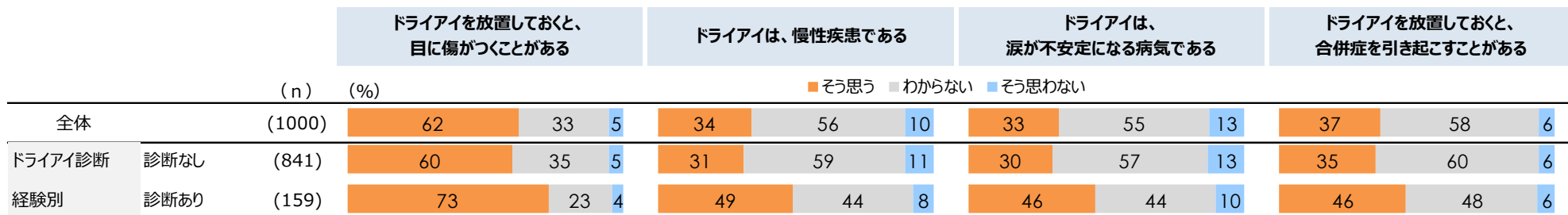
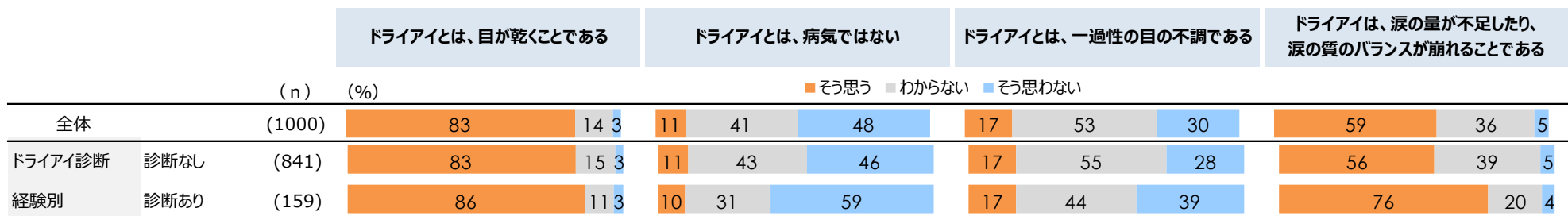
### 【調査概要】

1. 調査方法 : インターネット調査
2. 調査対象 : 全国の 20～69 歳一般男女(関連職業は除く) 合計 1000 名
3. 調査期間 : 2020 年 6 月 23 日(火)～6 月 25 日(木)の 3 日間
4. 調査監修 : 気づいて！涙液トラブル啓発委員会メンバー ケイシン五反田アイクリニック院長 内野美樹先生  
※性・年代別人口構成比に合わせてウエイトバック集計を実施(総務省人口推計:2020 年 6 月 1 日現在概算値を使用)

# ドライアイの認知状況

ドライアイ診断有無に関わらず、「目が乾く」「放置しておく目に傷が付くことがある」への認識が高かったのに対し、「ドライアイは慢性疾患である」「ドライアイは涙が不安定になる病気である」に対して、「そう思う」と答えたのはそれぞれ34%、33%でした。

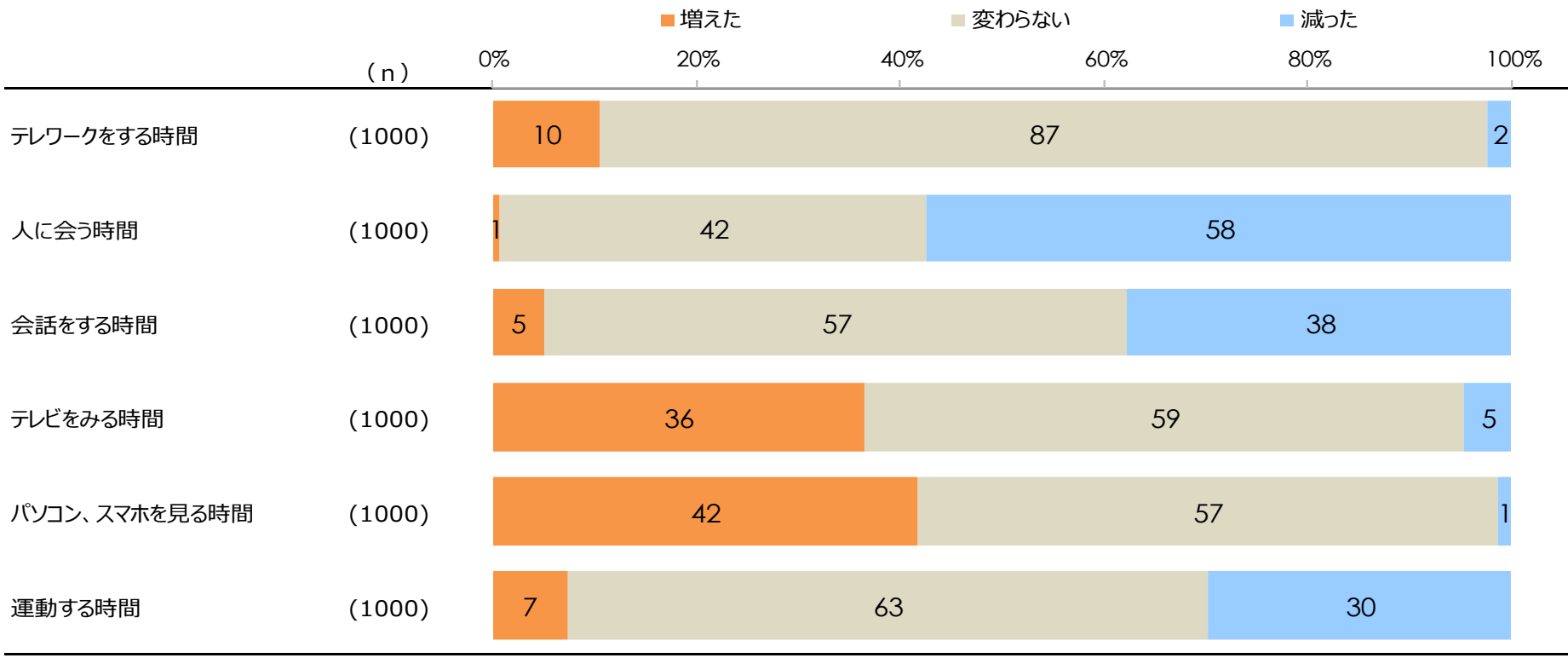
## Q ドライアイの認知状況



# コロナ禍における生活の変化

新型コロナウイルス流行により、「PC/スマホを見る時間」「テレビを見る時間」が増えたと答えた方がそれぞれ42%、36%でした。また、「テレワークをする時間」も10%の方が増えたと答えました。目を使用する環境が増大している可能性が推察されました。

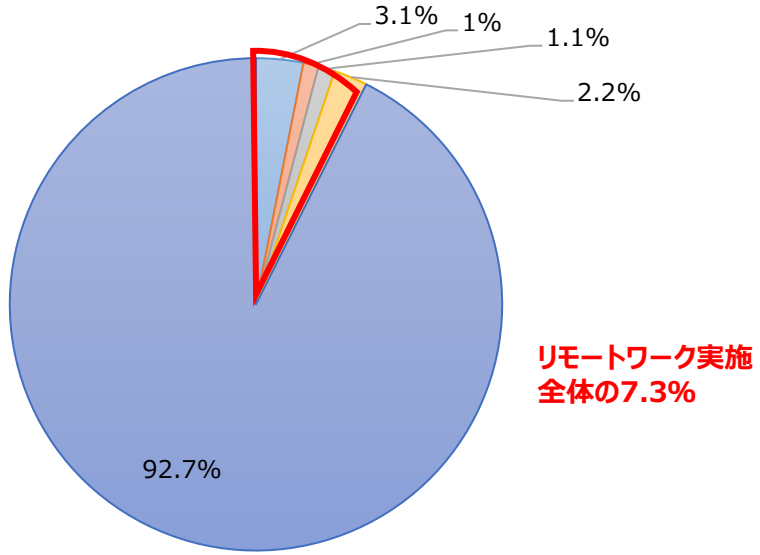
Q.新型コロナウイルスによる生活の変化



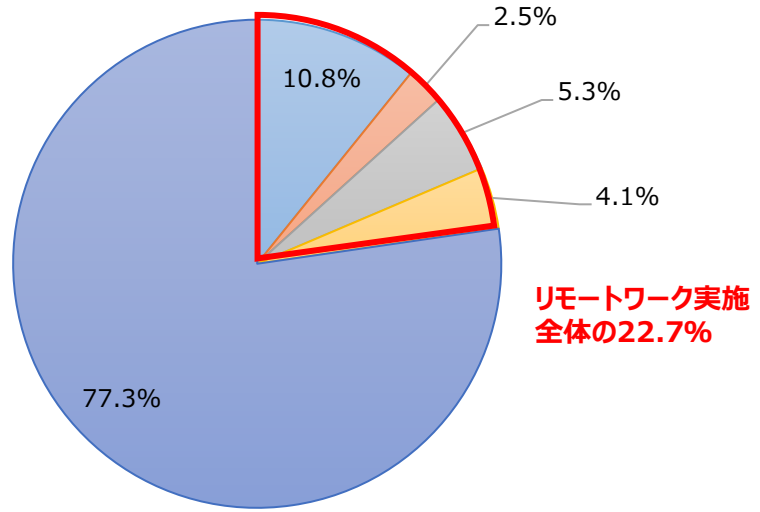
# コロナ禍におけるリモートワーク

新型コロナウイルス発生前のリモートワーク実施状況（週1日以下も含む）は全体の7.3%だったのに対し、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言発令中ではリモートワーク実施状況が全体の22.7%と約3倍に増えていました。

Q 新型コロナウイルス発生前のリモートワーク状況



Q 新型コロナウイルス感染拡大にともなう緊急事態宣言発令中のリモートワーク状況



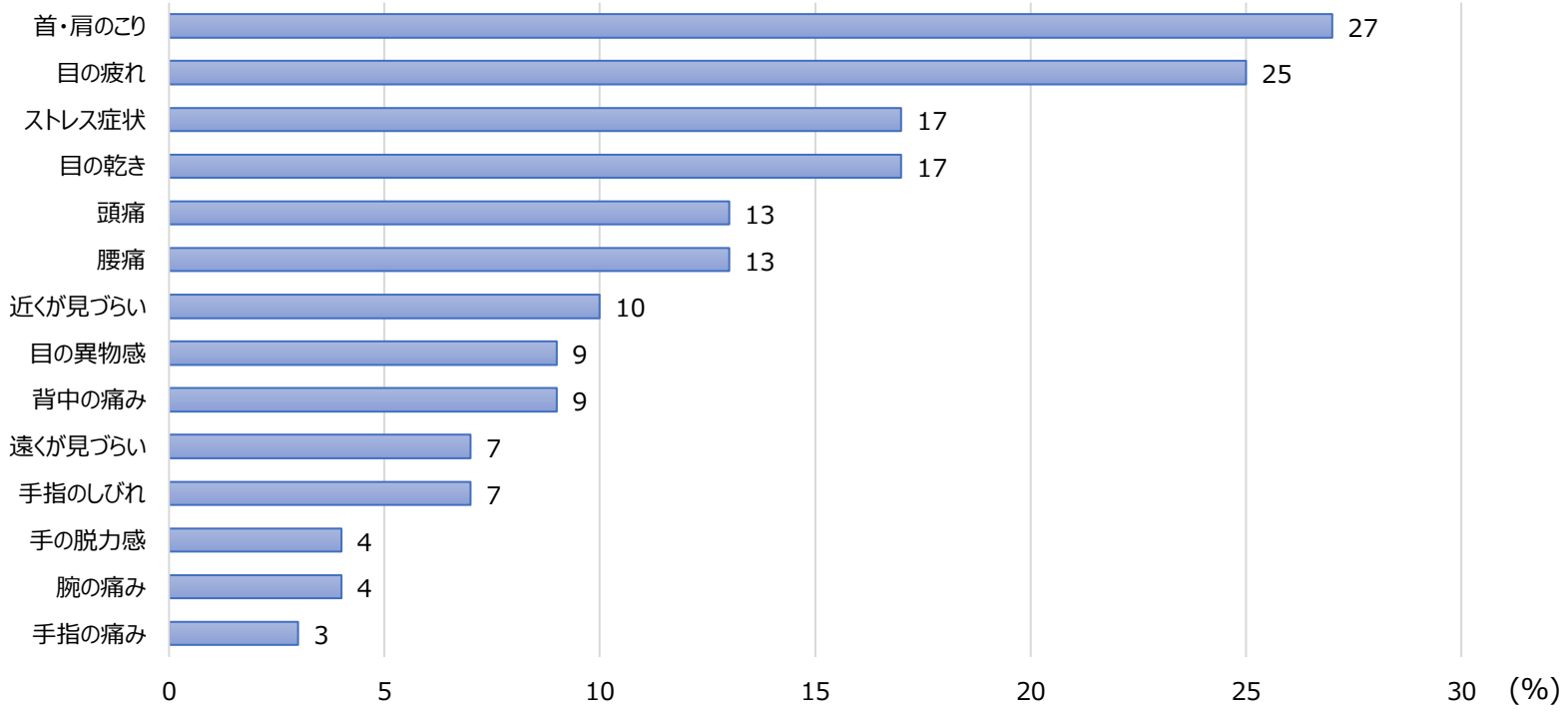
■ ほぼ毎日 ■ 週4日 ■ 週2~3日 ■ 週1日以下 ■ リモートワークをしていない

■ ほぼ毎日 ■ 週4日 ■ 週2~3日 ■ 週1日以下 ■ リモートワークをしていない

# リモートワーク前後の状況の変化（増えたこと）

リモートワーク実施経験者にリモートワーク前と比較した体調の変化を尋ねると、1位が「首・肩のこり」で27%、次いで2位が「目の疲れ」25%、以下「ストレス症状」「目の乾き」17%と続く結果になりました。

Q. リモートワークをする前と比較した状況の変化/増えた  
※現在有職者、リモートワーク経験ベース(n=214)



# リモートワーク実施者 直近1週間の目の症状

リモートワーク実施者に直近1週間の目の症状の有無を確認したところ、「見づらさ」「目のかすみ」は全年代（20～60代）で60%以上でした。

Q.直近1週間の症状の頻度／症状あり（いつも/ほとんど/半々/ときどき/全くないのうち、全くない以外選択者）

